

October 12, 2020

【前日の為替概況】米株高リスクオンのドル売り、105.58 円、ユーロ 1.1831 ドル、ポンド 1.3050 ドル

9日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反発。終値は1.1826ドルと前営業日NY終値(1.1759ドル)と比べて0.0067ドル程度のユーロ高水準だった。米追加経済対策の成立期待を背景に米国株相場が底堅く推移すると、リスク・オンのドル売りが優勢となり一時1.1831ドルと9月21日以来の高値を付けた。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時93.01と9月21日以来の低水準を付けた。

追加の米経済対策を巡る米与野党協議は、一度は中断したものの8日に再開。「ムニューシン米財務長官はペロシ米下院議長(米民主党)との会談で1.8兆ドル規模に増額した経済対策案を提案する」と伝わったほか、クドロー米国家経済会議(NEC)委員長はこの増額案について「トランプ大統領が承認した」と明らかにした。市場では米経済対策の早期成立への期待が高まった。

ドル円は3営業日ぶりに反落。終値は105.62円と前営業日NY終値(106.03円)と比べて41銭程度のドル安水準だった。米追加経済対策を巡る協議の進展期待から米国株が上昇すると、リスク・オンのドル売りが優勢となり105.58円と日通し安値を付けた。米10年債利回りが低下に転じたことも相場の重し。

ユーロ円は上昇。終値は124.93円と前営業日NY終値(124.68円)と比べて25銭程度のユーロ高水準。ユーロドルの上昇につれた買いが先行し、22時過ぎに一時125.09円と9月15日以来の高値を付けたものの、ドル円が下落するとユーロ円にも売りが出たため124.78円付近まで伸び悩む場面があった。

ポンドドルはしっかり。英国と欧州連合(EU)の通商交渉の期限が来週15日(英側設定)に迫る中、「交渉決裂は回避される」との楽観的な見方からポンド買いが先行。米国株の上昇に伴うリスク・オンのドル売りも出て、一時1.3050ドルと9月8日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。

なお、バルニエEU首席交渉官はフロスト英首席交渉官との協議を終えるとすぐにブリュッセルに帰国。ロンドンには僅か12時間の滞在だった。両交渉官は「合意に近づいている」としながらも、「漁業権や公正な競争、ガバナンスについて大きな溝がある」と主張した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米株高・米金利低下のリスクオン地合いで軟調推移か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米国株高・米金利低下のリスクオン地合いで軟調推移が予想される。

ドル円の注文状況は、上値には、106.00円と106.10円にドル売りオーダー、それぞれ超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.40-50円に断続的にドル買いオーダーが控えている。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党(1.5兆ドルから1.8兆ドルへ増額)と民主党(2.4兆ドルから2.2兆ドルへ減額)による協議が続いているものの、合意には至っていない。しかしながら、航空会社と中小企業への支援案の合意への期待感が高まっており、ニューヨーク株式市場を押し上げている。

本日12日からは、トランプ大統領が最高裁判事に指名したシカゴ連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏に対する上院司法委員会での審議が開始され、10月26日週には、本会議採決の予定(※共和党53対民主党45、無所属2)となっている。

15日に予定されていた第2回米大統領候補討論会は中止となり、来週22日の米大統領候補討論会が選挙前の最後の討論会となる。

ペロシ米下院議長(民主党)は、トランプ米大統領がまだ承認されていない新型コロナウイルス治療薬を取り入れ、ステロイド剤も投与していることで、「アルタード・ステーツ」(日常的な意識状態以外の意識状態)なのではないかと疑念を呈しており、大統領の「罷免」について規定した憲法修正第25条について議論することを明らかにしており、今後の続報に要警戒となる。

憲法修正第25条は、1963年11月にジョン・F・ケネディ第35代大統領が暗殺されたことを受けて、大統領職の遂行が不可能になった場合の職務の継承について定めたもので、1965年に連邦議会で可決された。第4項は、「もし大統領が権限移譲を拒否しても、副大統領と閣僚メンバーの過半数、または連邦議会が法律で定める他の機関の長の過半数が、上院議長代行および下院議長に対して、大統領が職務上の権限と義務を遂行できない旨を書面で通告した場合には、副大統領が大統領代行になる」となっている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 9月企業物価指数（予想：前月比横ばい／前年比▲0.5%）
- 08:50 ◎ 8月機械受注（予想：船舶・電力除く民需 前月比▲1.0%／前年比▲15.6%）

<海外>

- 15:00 ◇ 9月独卸売物価指数（WPI）
- 16:00 ◇ 8月トルコ経常収支（予想：44.5億ドルの赤字）
- 16:00 ◇ 7月トルコ失業率
- 20:00 ◇ 8月メキシコ鉱工業生産（季調済、予想：前月比2.7%）
- 20:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 21:00 ◎ 8月インド鉱工業生産（予想：前年同月比▲7.6%）
- 23:00 ◎ ハスケル英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演
- 13日 01:00 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、講演
- 13日 05:00 ◎ バスキャンド・ニュージーランド準備銀行（RBNZ）副総裁、講演
- 国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会（テレビ会議、18日まで）
- 米国（コロンブスデー）、債券市場が休場
- カナダ（感謝祭）、ブラジル（聖母の日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

9日 06:53 ホワイトハウス

「トランプ米大統領はさらに規模の大きい法案にオープン」

※時間は日本時間

9日 07:48 カプラン米ダラス連銀総裁

「景気回復に対してより楽観的になった」

「一段の財政出動がなお必要だが、それがなくとも当面は対応は可能」

「すでに大量の債権を購入していることで、これ以上行うことには懐疑的」

「更なる財政支援がなければ、回復は遅くなるだろう」

9日 10:41 トランプ米大統領

「土曜の夜から遊説をはじめようかと思っている」

「体調はとても良い(Really Good)」

「クリス・ウォレス(前回討論会のモデレーター)は酷かった」

「バーチャルの討論会は行わない」

「ハリス(民主党副大統領候補)は社会主義よりももっと極端だ」

「バイデンは憲法修正第2条(国民が武器を保有する権利)について話そうとしない」

「私が大統領でなければこの国は銃を保持できていないだろう」

「バイデンは私が行った大型減税を終わらせて、逆(増税)にしようとしている」

10日 00:53

「米景気対策案についての交渉は進んでいる」

「民主党よりも大規模な経済対策案を望む」

9日 13:48 ダス・インド中銀総裁

「流動性に関してさらなる措置を講じる準備」

「債券買入れの規模を拡大する予定」

「21年度のGDP見通しは-9.5%」

9日 22:58 マコネル米共和党・上院院内総務

「追加の刺激策が選挙前に合意できるかは分からない」

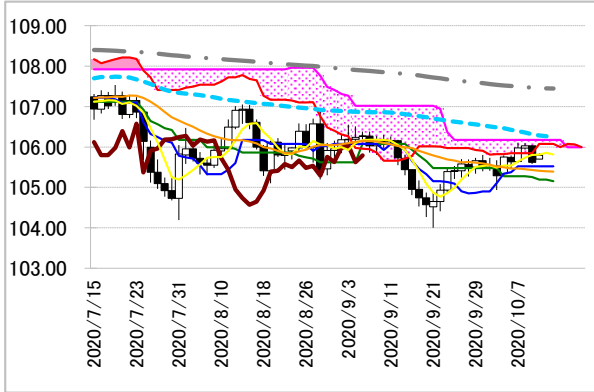
10日 00:46 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長

「景気刺激策についてムニューシン米財務長官とペロシ

米下院議長(米民主党)は本日午後に協議する予定」

「トランプ米大統領は修正後の景気対策案を承認した」

〔日足一目均衡表分析〕

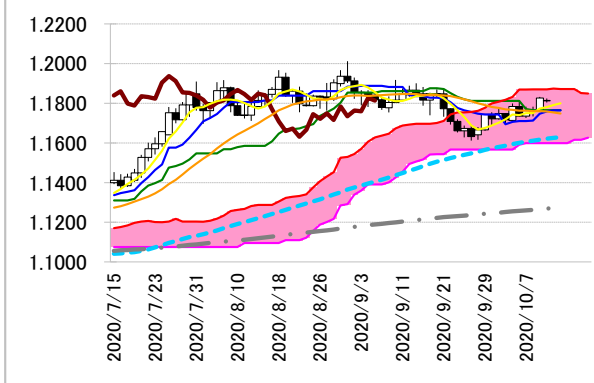


<ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。雲の中で三川宵の明星的なパターンで反落していることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	106.18(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	105.62
サポート 1	105.19(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	104.41(9/22 安値)

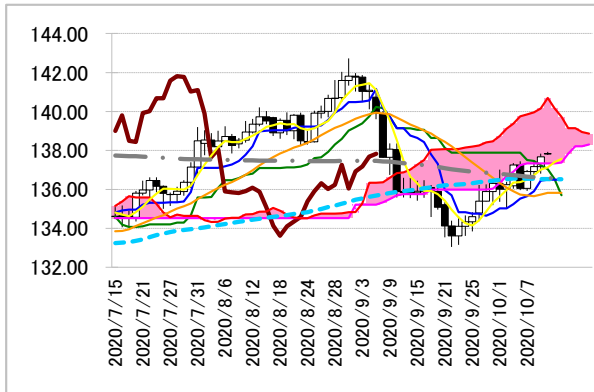


<ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、抱き線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1870(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1826
サポート 1	1.1758(日足一目均衡表・転換線)

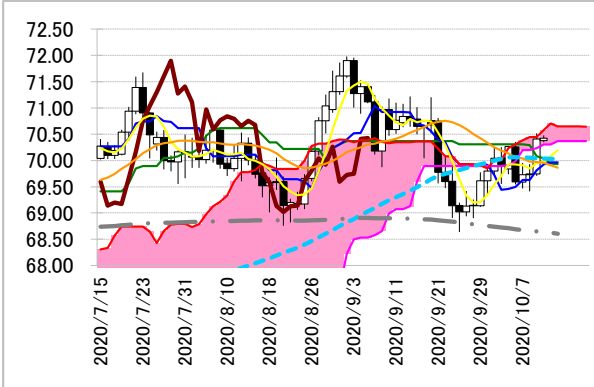


<ポンド円=基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、3手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	138.36(9/10 高値)
前日終値	137.68
サポート 1	137.04(日足一目均衡表・基準線)



<NZドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、3手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	71.20(9/18 高値)
前日終値	70.41
サポート 1	69.92(日足一目均衡表・転換線)

